

○第3回審議会(6/14)のワークショップまとめ

【将来像の検討について】

- ・下表は、第3回審議会でのご意見と会議後に欠席者からいただいたご意見をとりまとめています。
- ・審議会では、「オリジナリティがあり、子どもも大人もお年寄りも、誰もが自然と口に出てくるキャッチフレーズであり、行政のため、市民のためといったものでなく、『私たちみんな』の将来像」を検討していきます。

グループ1		
将来像のキーワード	関連するフレーズ	備考
丹（まごころ）の里 〔 ・使い続けたい ・定着している 〕	優しい	大切な視点
	夢育む	
	誰ひとり取り残さない	
	おもいやり	
	安心安全	
人	ほどよい	
	ほっこりつながる、つながり	
	人を大切に	
	人を育てる、人が育つ	丹波市にはすでに備わっている
	子ども	
	市民自立	
	共生・共創（ともにつくる）	
自然 〔 ・アンケートやワークショップでも多く出た フレーズ 〕	丹産丹消	
	農（みのり）	
	森（ウィーンの森のような）	
	田園都市	
その他	技術・ものづくり	丹波にはものづくりがある
	新しい、新時代、シン・～	
	働く	
	医療	

グループ2		
将来像のキーワード	関連するフレーズ	備考
外部から見て “光る” 魅力をつくる	磨く	
	輝く	
	交流（外部の人と）	
地域自治をしっかり 自分たちで地域を守る	住み続けたい	働く場所がある （企業側のPRも必要）
	若い人が参画しやすい	
	交流（地域の）	
	寄り添う	
	地域に根差しやすい	
	誰もがなじみやすい	
	市民や企業、行政が役割をはたしていく	
行政に困っている人の声が届く まちづくりの方針が見える	移動しやすい	公共交通が不便 （デマンド）
	人が循環する	
	市としての方向性が見える	
	子育て	
現行計画の将来像の 視点を引き継ぐ	丹（まごころ）の里	もっと認知度を高めるため、 使い続けていくのか
	人	
	自然、里山	・農工商福との関連が深いフ レーズ ・丹波らしいワードに置き換 えて使う
	交流	

会議後のご意見

・ 今後10年間の方向性がイメージできるフレーズとする

・ 丹波市の課題は「少子高齢化」、「若者の定着」

・ 子どもが増え、地域に定着する若者が多くなれば、地域や高齢者、地域産業を支える人が増える。

キーワード	若者	次世代
	ほどよい（ほど良い）	愛着
	丹（まごころ）の里	ふれあい
	おもいやり	COUNTRY (Country)
	寄り添う	country town

・ 市民ひとりひとりの個性が尊重される町

・ 常に学び、成長する町 たんば

・ 観てよし、食べてよし、暮らしよし 丹波市

・ 「ありがとう」と思える風景のまち丹波市